

云、父母は常に子を念へども、子は父母を念はず等云云。

定遺一八〇四―五頁

### 註法華經・結卷

四恩事、広釈云、心地観云、世間之恩其有四種。一父母恩、一切衆生互為父母、生生世々養育深故。二衆生恩、一切衆生菩薩恩處、利益衆生成仏道故。三國王恩正法治世自他修善、以依此恩行功德故。四三宝恩、常住法界引導衆生拔苦与樂致菩提故。普為報於四恩故發起清淨菩提心応受菩薩三聚淨戒。知恩報恩名持戒。

私集取要文註法華經 九〇三・九〇一頁

## 近代日蓮宗年表作成のために

### 明治大正昭和、日蓮宗関係資料収集のお願

日蓮宗は、きたるべき七百遠忌をめざして『近代日蓮宗年表』を作成刊行することになった。日蓮宗現代宗教研究所は、この年表についての編集方針をすでにきめ、宗務機構・布教行事・文献作品・宗教社会一般の四欄を中心に、およそ六〇〇ページの年表作成をめざして作業をすすめている。

本年表は、こんにちの日蓮宗を特色づけている「近代」(幕末維新から明治・大正・昭和)に時代を設定してまとめられる。そ

れは、宗学面では優陀那日輝、宗門機構・布教面では新居日薩の「面師をはじめとする先師の動きが、「日蓮宗」の呼称とあいまって、こんにちのいたる日蓮宗の、もっとも近い原点となっているからである。

これまで刊行された年表は、「日蓮宗年表」「日宗竜華年表」などがある。本年表は、これらの成果を土台とし継承しつつ作成されるが、重要項目の解説などをつけ、読み、活用し、しかも近代日蓮宗の動きを必要事項の記載にもとずいてとらえなおすことを目標とする。

目下、もっとも大切な点は、こうした近代日蓮宗の動きを示す資料がきわめて不足していることである。宗報、日蓮主義、法華などの一部は入手してあるが、この基本資料をすべてそろえておきたい。さらに明治いらい、各寺院や各地方でさまざまにとりくまれた活動を伝える資料を収集したいと考えている。日蓮宗の動きは、たんに宗務院と一部寺院のそれにとどまらず、各寺院や信徒によつてなされたものである以上、これらを可能な限り記載する方向をとりたい、先師・檀信徒の活動を伝えるもの、日蓮宗の動きを示すもの、こんにち各寺院や信者の手もとにある近代日蓮宗関係の資料、本、雑誌、パンフレット、寺史、先師事項、檀信徒の信仰譚(記録)をはじめ、宗報、日蓮宗宗報、日蓮主義、法華日宗新報、戦前までの宗制・寺院名簿などいかなるものでも収集し、年表化するとともに、これらの資料集をまとめておきたいと念じている。どうか、近代日蓮宗の動きを伝えるものがあれば、現宗研までご一報あるいはご送付願いたい。この点について心からご依頼申し上げます。